

大館警察署 P F I 導入可能性調査業務仕様書

1 目的

本業務は、秋田県が大館警察署を改築整備することに対し、様々な民間活力の導入による整備等を検討し、効率的、効果的に事業を推進できる民間資金やノウハウなどを活用する P F I 手法等の導入可能性調査を委託するものである。

本業務により、民間活力の導入による本県財務負担の軽減や、効率的運営の確保などの効果を検討することを目的とする。

2 業務の名称

大館警察署 P F I 導入可能性調査業務

3 委託期間

契約締結日から令和 7 年 3 月 1 4 日まで

4 業務の内容

県有施設の効率的な施設更新、施設環境の改善を実現するにあたり、建替の事業方法、維持管理の手法等について、具体的な整備内容でなく、その時点でそろっている施設の諸条件等の整理や法制度・補助制度を整理し、民間事業者が参入できそうな事業であるかの検討を行う。

なお、本業務の履行に当たっては、本業務の意図及び目的を十分に理解した上で、建設に関する専門的な知見に基づき、実施すること。

(1) 検討対象物件

大館警察署の整備及び維持管理等

(2) 前提条件の整理

ア 大館警察署の整備、維持管理等に係る基本的な方針を整理すること。

イ 関係法令等を調査し、課題・留意点等を整理すること。

(3) 事業手法等に関する検討・整理

ア 事業手法

従来手法、P F I 手法（B T O 方式、B O T 方式、D B O 方式他）等により実施する場合の事業範囲、事業期間、官民の役割分担及びリスク管理等について検討・比較を行い、本事業に適した事業方式の検討を行うこと。

イ 維持管理の検討

建替整備と築浅の施設の維持管理を組み合わせるなど、多角的な視点から民間活力導入による事業化を検討するための助言を行うこと。

ウ VFMの検討

従来手法と適用可能性が高いと評価できるPFI手法等について、公的財政負担の見込額を算出・比較し、VFMを試算・評価すること。

エ 先行事例調査

適用可能性が高いと評価できるPFI手法等と同種手法を行った事例等について、調査・整理を行うこと。

オ 総合評価

定量的な評価（VFM等）と定性的な評価を整理し、本事業に対するPFI手法等の適用可能性を総合的に評価・比較すること。

(4) 市場調査

本事業をPFI手法等で実施した場合において、事業参加の可能性が想定される民間事業者へのヒアリングを実施し参入可能性を把握し、その意見の反映を図ること。

(5) 実施方針（基本方針）作成等

検討の結果、PFI手法等が最適な事業方法と評価される場合、特定事業の選定に関する事項、事業者募集や選定、リスク分担、各種課題、スケジュールに関する事項等を整理した上で、公募資料の基礎となる実施方針（案）を検討・作成すること。

(6) 報告書の作成

検討した成果を取りまとめた報告書を作成すること。

5 成果品

大館警察署PFI導入可能性調査業務報告書及び報告書概要版

正本1部、副本8部及び電子データ一式

6 留意事項

- (1) 県が保有する情報・資料等については、本業務を遂行する目的に限り使用することができるが、県の許可なく第三者に流布してはならない。
- (2) 成果物及び関連書類等に対する一切の権利は、原則として県に帰属するものとし、県の承諾なく公表、貸与、又は使用してはならない。
- (3) 本業務の実施に当たり、著作権、肖像権、個人情報等を扱う場合は、関係法令等を遵守し、適切に対応しなければならない。
- (4) その他本仕様書に定めのない事項は、双方協議して定めるものとする。